

四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

談話室 Vol. 10

大地を潤す土器川源流の町 琴南町

香川県 琴南町長
さ の としあき
佐野 利昭



1. はじめに

琴南町は、阿讃山地の懷に抱かれた、香川県唯一の1級河川、土器川の源流の町であり、ふるくから金毘羅参りや借耕牛の人々が峠を越えて行交った、阿波と讃岐の県境の町でもある。今は、国道438号三頭トンネルが開通し往時を偲ぶ面影は、路傍に佇む石仏だけとなったが、平賀源内ゆかりの「美霞洞温泉」や「道の駅・エピアみかど」で年間20万人近い人達が交流を深め賑わっている。

2. 水に関する話題

香川県は、今年も平成6年以來の大渇水に見舞われ、多くの市町で給水制限が行われた。全国にも名高い「満濃池」を始め多くのため池を有する県であることは、渇水に悩んだ先人の苦勞の遺産であろう。土器川は、1級河川としては珍しくダムが無い、過去に何度か建設計画が持ち上がったが

頓挫した経緯がある。距離も短く急峻なため一時の水はあっても保水力に乏しく利水には不向きで、頻繁に水争いがあったと聞いている。

琴南町には、大川念仏踊がある。由来は、聖武天皇天平6年の諸国大旱魃の折、国司が大川神社に奉幣して雨乞いの祈願をしたのが始まりと伝えられている。以来、毎年旧6月14日に奉納しており、近郷近在から多くの参詣がある。農業用水を土器川に頼っているため、日照りが続くとな農家の人達は困窮し、水引当番を立てて水管理を行っていたが、今日では、用水路整備やほ場整備も進み、水の有効利用が図られており、念仏踊も雨乞い行事と言うより文化財としての色が濃くなった。

古来より「水を制するものは国を制す」と言われております。利水、治水は国民の願いであり、積極的な対策が講じられるよう希望いたします。



大川念仏踊



平成十五年建立 源泉碑